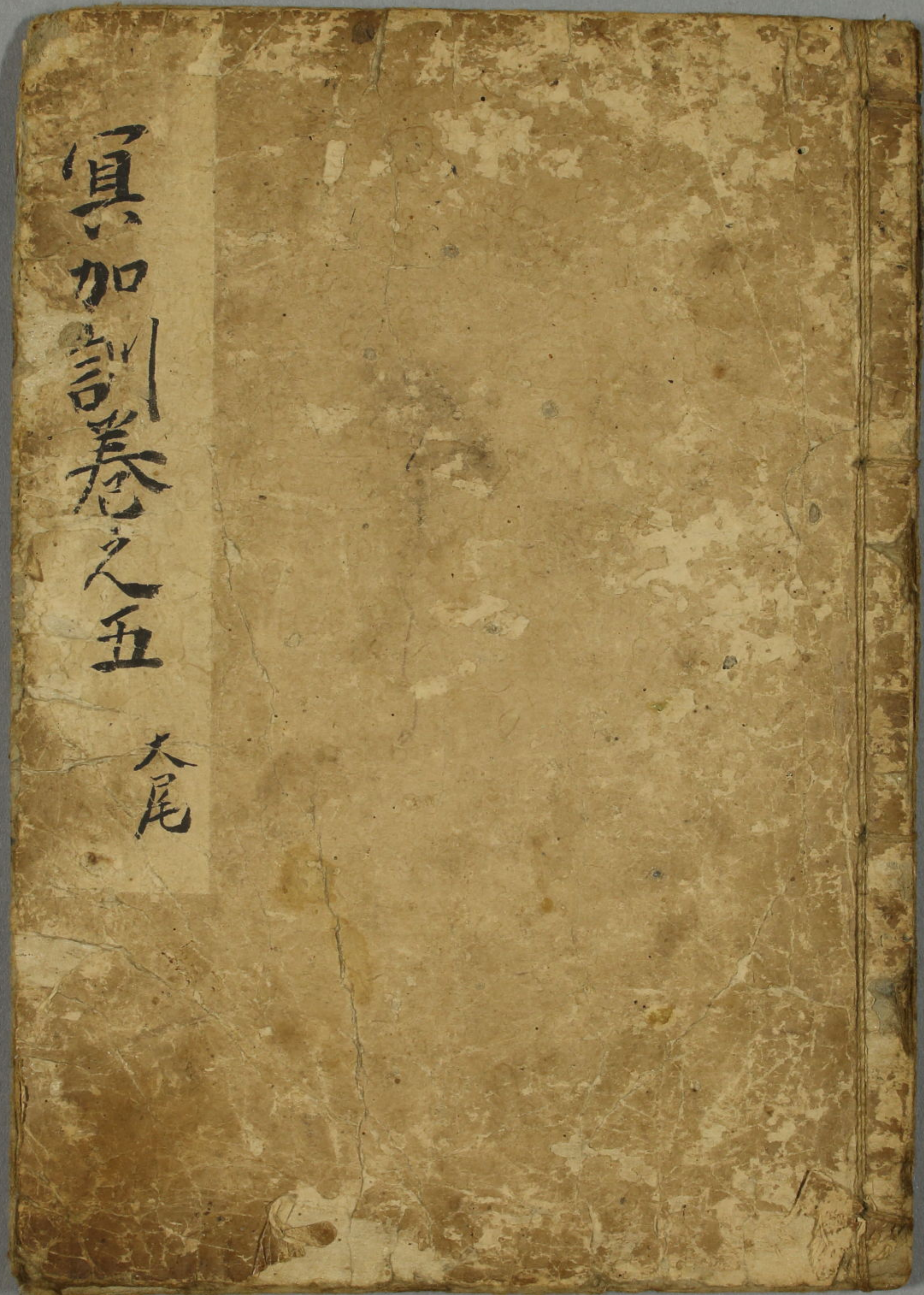


眞加訓卷之五

大尾





眞加訓卷之五

一 夫婦の挨拶。さういふはまじり禮儀正しく。ひらき  
 くるべき事也。もしは他人たれもれども。陰陽和合  
 の道理ことも。まゝ必つま妻とかなる也。是れ人作  
 小あり。天道よりむとむい合を。動給ふ事  
 たり。種くさびよくや。あつくと。まゝこのもの。場くまあつて。  
 こと正しく。偕老同穴ともの契ちぎを。ちがえぬ中  
 へ。つとむとむ。世の中。まゝい。吾われ分別べつなら  
 男あり。妻をばあをせう。のう。あ。おそくき  
 雜言ざげん。あ。け。く。あ。ら。あ。の。あり。は。さ。か。る

眞加訓卷之五











つど。近色のもの。さねうと聞く。大事の候より  
 一人公儀（さかんぎ）ととくも也。又太平記四十餘年  
 乃軍也。主婦の秘物とありよる也。ねむり候也。  
 大事の候をおもひ。さねうとすもの。あはれ。一生  
 ありしれ。よれ。さねうと。つらりし。わらもの也。彼是  
 て。悪事（あくじ）のありし。天罰（てんばつ）あり。大切乃まを  
 ねむり候也。あはれ。さねうと。又秘物（ひぶつ）あり。あはれ。  
 あはれ。さねうと。ものあり。一旦（いちだん）さねうと。さねうと。  
 一夜の是非（ぜいひ）も。あはれ。つらりし。あはれ。さねうと。  
 へまも也。妻れ方より。何事とまをさねうと。

けの才智（さいち）お出して。彼是と。擗度（ねりど）といふ。さねうと。  
 子孫（しじゆん）と。つらりし。さねうと。衣（い）敷（し）乃（の）か。持（もち）。あはれ。  
 出細（でじゆ）を。大切（たいせつ）乃（の）まを。さねうと。さねうと。第（だい）  
 一と。さねうと。大切（たいせつ）乃（の）まを。さねうと。さねうと。さねうと。  
 一人と。さねうと。不（ふ）便（べん）と。さねうと。さねうと。さねうと。  
 ね男女の別（べつ）を。さねうと。一人と。さねうと。さねうと。  
 中（ちゆう）に。身（み）を。さねうと。家（いへ）の。さねうと。子孫（しじゆん）の。さねうと。  
 大切（たいせつ）乃（の）まを。さねうと。さねうと。さねうと。  
 て。さねうと。さねうと。さねうと。さねうと。さねうと。  
 づらりし。さねうと。さねうと。さねうと。さねうと。さねうと。

真分巻五







短氣よほり也。家紙出くも。親兄弟のやんりは  
なり。苦勞よほり也。不孝ともなり也。毎  
婦。又宮儀久志くも。さうくく。結  
様とけく。争ふ。まも。死のく。争あり  
べし。年々のなり。間の事也。うのく。自分の  
損をさく。争分刻の。まされ。く。争  
止。あ。よ。ま也

一兄弟の間は。あ。い。い。じ。ま。く。ま。く。ま。を  
本とと。先祖へ。對しての孝行。家門の  
昌。他人の。評判。結核。なる。也。兄は。弟は

非とと。あ。い。い。ま。と。ま。く。兄弟の。非と  
と。あ。い。い。ま。と。ま。く。い。ま。ま。ま。ま。  
ま。利欲の心。生得の。氣を。い。ま。ま。ま。ま。  
ま。い。い。ま。ま。あ。い。い。中人の。下。愚の。う。ま。ま。  
人。く。あ。い。い。い。あ。い。い。怒を。く。ま。ま。怒とと  
と。あ。い。い。親も。ま。ま。の。極。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
人。ま。ま。ま。ま。の。ま。ま。非と。い。い。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
い。い。ま。ま。ま。ま。也。兄弟の。血肉の。つ。ま。ま。親  
は。あ。い。い。ま。ま。ま。ま。ま。ま。世。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
人。の。人。う。あ。い。い。ま。ま。第一。父母。第二。兄弟。ま。ま。い











加し。一入りたるがちなり。才徳ともなり。知り  
神なる人といふは。乃びごた也。せんとく一は。若  
人とも。貪欲邪見のつらつら奥たるは。中  
く。その候と。上品よ。ちてめくも。つ。てい  
し。の念のゆめも。ん。ご。ご。

一 継母継子といふも。たてて。る。は。ご。る。事。な  
ま。ご。も。是。も。後。実子のせせご。つ。ま。ご。も。可。也  
実子せご。れ。い。ご。ご。い。を。い。ご。ご。て。た。よ。ご。い  
が。ち。も。る。た。事。と。い。ひ。じ。人。耳。に。く。け。双方の  
つ。ご。ご。て。あ。あ。う。也。香。や。い。く。お。の。物。ご。ご。れ

ご。ご。この意と双方よく合して。義理を大  
切。な。ご。ご。一。実れ親子の向に。意。を。の。情。ま。を  
あ。ご。義理のつご。ご。也。義といふもの。重。い。の。也。  
つ。ご。實の子とて。他人の子と。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。  
う。ご。ご。場。が。あ。る。也。実の子たるゆへ。継子  
養ひするに。順。た。る。事。に。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。  
中。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。  
ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。  
は。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。  
よ。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。ご。



事也。是れ天よりんらるるに。月のこ侍され  
がさく。一人あて。こ人のるさるる也。さるる人  
后は一人なり。子孫お積たぐのさる。先王婦女の  
殺と。定るる。さるる。如女ハ去のはあり。  
う終とよした事あり。子ありもの。業羅色  
このそれあり。妻とあまこさるる。あまらるる  
さるる子孫。胎たい中や生落る。さるるものあり。  
それゆへ妻と一人。秘さるる。非義の  
非義なり事也。冥加がほさる。いのらるる  
うらぶとさるる

一朋友の間。きざむ。他人とらるるの。ゆらるる  
は。冥加のさるる。一れさるる。さるる。さるる。  
吉事あり。さるる。さるる。さるる。さるる。  
さるる。疾病患難。おさるる。さるる。さるる。  
さるる。過あやまりをさるる。益友とさるる。さるる。  
さるる。表面あはれさるる。さるる。さるる。さるる。  
は。あさるる。さるる。さるる。さるる。さるる。  
さるる。有る。宿。さるる。さるる。さるる。  
さるる。さるる。さるる。さるる。さるる。さるる。  
さるる。要をば人。さるる。さるる。さるる。さるる。



友の道とんはついでごと。血脈つてきつり親族と  
らぐい。まよせんばなみさうも事也。らりりね  
友とんていべのけとそんごふ。あいらい。まよ一は  
ざりがよう。巴よまらうごものぞ。友とんも事  
まらんとのもまよ思也。愚て朋友のまどりりか  
水の味れごもわりく。ろくもてれ教して  
い安とてと。一生あまぬがよう。かくれごもせい  
ほどりりのあいらるんまも中らま。ワが氣よ入。い  
よりまららあまは。まよ一く醜味のあま  
あまららゆ。中らまよとくわら也。あまのあまを

念はたりやつたは。一くもあつ。の也。酒色の  
ほどりり。情交等の事。外よ中ららるご  
ゆらま。儲人を好人と。まらららるご  
よう。まららら。中人つ下。下愚の部らる人ま  
は。氣稟物欲ら。まららら。いもまららら。角と  
牙よ。あつ身らるん。まららら。いもまららら。角と  
結構らんざんあ。まららら。まららら。まららら  
け。親ららら。けあららら。あまの身よ。まらら  
まつげらら。まらら。一生あまらら。まらら  
べ。ま百枚千枚の道具ら。まらら。まらら



は。夫。き。ま。し。し。め。く。ぬ。世。の。と。こ。り。物。も。ぬ。也。  
人。の。か。の。お。く。本。公。の。全。徳。よ。少。く。疵。を。  
ほ。ま。ぬ。と。つ。ら。仁。を。求。む。の。工。ま。是。冥。加。川。  
く。ま。れ。大。車。一。かり

一馬牛大猫鷄猪豚等。この外魚鳥飼畜  
車。并。魚。を。殺。生。の。り。馬。の。御。家。乃。い。度。  
民。の。お。ん。ご。の。人。間。れ。用。よ。さ。ら。か。く。て。さ。の。  
ざ。り。の。か。り。大。豆。糖。菓。等。の。合。物。よ。念。と。  
入。湯。洗。等。ぬ。ん。を。は。き。病。氣。と。れ。の。氣。と。つ。  
ち。告。生。い。と。さ。る。荷。馬。の。道。中。サ。の。た。荷。と。

けい。遠。と。道。を。と。こ。ま。る。れ。ば。荷。物。の。費。目。  
も。軽。く。は。ま。そ。つ。ら。さ。る。牛。の。耕。作。れ。た。と。け。  
も。ぬ。車。と。ら。う。せ。荷。を。つ。ま。そ。人。力。と。ぬ。と。ら。  
る。さ。れ。ば。その。思。う。と。の。か。り。牛。馬。の。物。を。  
い。と。ぬ。の。さ。れ。ば。一。か。ん。を。つ。ま。そ。つ。ら。さ。る。せ。  
り。は。り。ま。車。か。ん。ぐ。は。冥。加。の。ほ。く。る。車。也。犬。  
は。里。遠。く。人。家。ま。れ。ち。ら。而。は。盜。人。の。用。を。  
る。飼。と。い。ふ。や。家。の。か。り。と。い。ふ。あ。り。お。い。  
つ。ざ。り。の。也。道。を。の。か。り。の。ぬ。と。い。ふ。言。と。  
つ。垣。壁。を。と。こ。さ。る。猫。を。取。あ。ら。い。の。付。来。



乃人よ。くくうり。牝犬とまじり。友犬をうみ。  
 狗子出本れ。深谷よすく。くくもむじくた  
 来也。さればたきて。来欠どん。くくもりの也。  
 猫の胤と取ものるれ。飼ふも可也。なまの  
 時をけぐる物るれ。まゑたからもの也。村里  
 とぬく。時り待や。左靴の関えぬ。飼ても  
 可也。まぐら。た壇や。菜園とせり。隣家  
 くの。采栗のちくくぬく。卵子せよれ。  
 強くどそそせられ。やど。ぬく。食とれ。ば生  
 とさざらもの。不仁なる事也。是も同じく。

くくもりの也。猪の魚をとるくくもの物るれ。  
 獵師の畜業に。飼ふも可也。なまは大名高  
 家乃。用い。くくもの。くくも。殺生の  
 罪。多きなり。なまれ。餌よたり。小鳥と殺し。  
 土餌して。飼よ。犬と殺し。たうの。くく鳥。又く  
 乃。妨。た。く。鳥や。犬猫とくく。く。の外  
 人。民の。く。み。作物の。損失。上。一人の。た。く。み  
 の。く。く。く。く。く。の。ゆ。か。く。子。孫。乃。く。く  
 くら。く。く。く。真加の。は。く。く。事也。飼ふ。く。く  
 くら。く。く。な。あり。ぬ。く。け。く。も。親。子。と。あ。ひ。



子に親をうむ。牡鳥ハ北鳥とくわの。北鳥ハ牡  
鳥也。室屋ハ空屋也。室屋ハ空屋の内也。明々也。と  
らん。銅魚モ同也。げの目とまぐさ也。げの耳  
をよつこい志らんとして。魚鳥乃くまゆらりま  
る。まぐさハ外も獸と。鉄炮トくお  
網トとり。吹矢トくまぐさ。まぐさハ魚ハ  
梁ヤ縲トくまぐさ。けつと釣毒トくまぐさ  
乃款不仁也。聖王四時の穢ハ耕作  
の害とまぐさ。人亦ハセまぐさ。人ハ害とくまぐさ

りて。まぐさハ縲也。まぐさハ角羽毛也。骨也。  
人間の用ハまぐさの也。みる人民のまぐさ。まぐ  
さハまぐさ也。たいやく。まぐさハ口腹とまぐさ  
まぐさのまぐさ。民力トけりや。農隙トまぐさ  
げ。物乃命とまぐさ。にまぐさとまぐさ。天也。  
まぐさ。まぐさ也。お先祖乃まぐさ。室屋客のまぐ  
た。老人保身乃まぐさ。病人補益乃まぐ  
る。貧者ハ救て。用りも可也。人の万物乃  
其長也。貴也。ものまぐさ。まぐさハ獸  
魚也。草也。まぐさ。まぐさ。まぐさ。まぐさ。理也。



あり也。さればこそ。むさしころりすと。まにわら。生類の尸に及びて。至情の木の冥。草の冥。しても。嘖々たる火。く。生理と絶。子。天のく。は。る。の。さ。ら。地。よ。う。ゆ。ま。い。く。て。生。長。と。ら。ぬ。し。つ。く。ん。ん。ぐ。し。冥。加。の。は。く。ま。よ。ま。い。き。の。た。り。

享保十乙巳歲

九月吉辰

撰陽 書肆

江戸通本町三丁目

西村市郎右衛門

高藤橋筋豆葉町

油屋與兵衛

伊丹屋新兵衛

主

増子盛孝

為



